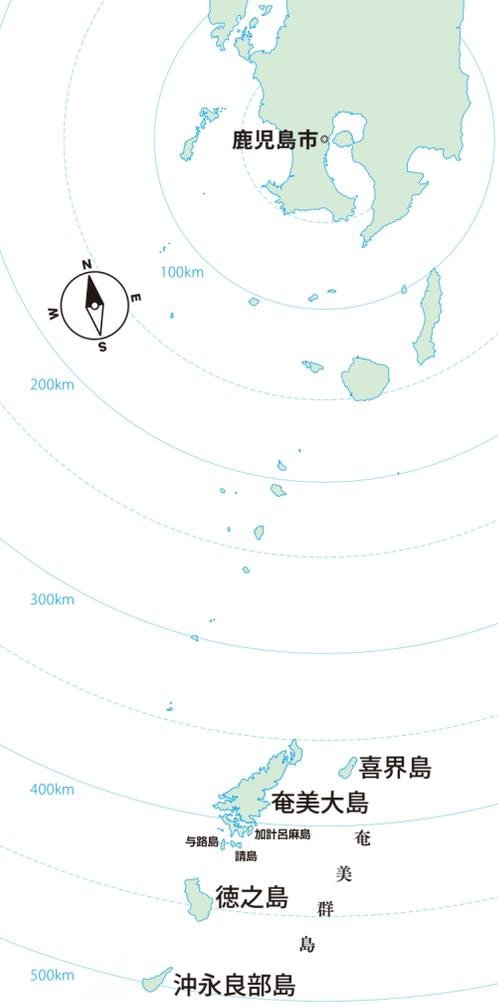


# Amami Islands

奄美群島の自然を、魅力をもっと知りたい！

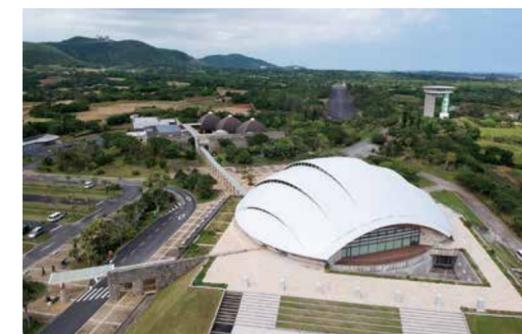


**奄美自然観察の森**  
奄美大島の自然を気軽に楽しめる施設。自然を生かした広い園内には、遊歩道や展望台が整備されており、奄美固有の植物や野鳥、昆虫などを観察しながら散歩することができる。



きんさくぼる  
金作原

スタジイやイジュなどの常緑広葉樹を主体とした森林。巨大なヒカゲヘゴなどの亜熱帯植物が茂り、国指定天然記念物のルリカケスやアカヒゲなど、希少な生物も生息している。自然を楽しみたい方は、奄美群島認定エコツアーガイド(有料)の同行が必要。



奄美パーク

奄美群島の自然・歴史・文化を紹介する観光拠点施設。交流の場としての「奄美の郷」と奄美を描いた孤高の画家の「田中一村記念美術館」が併設されている。



隆起サンゴ礁の平坦な島。現在も年平均約2mmという世界有数の速度で隆起しており、学術的にも非常に貴重な島と言われている。オオゴマダラやガジュマルの巨木等の様々な動植物、サンゴの石垣、史跡など、自然と歴史が調和している。

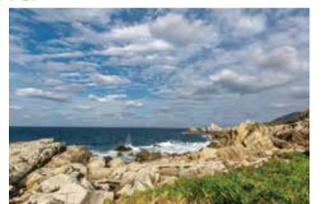
あまぎだけ  
天城岳

標高533m、奄美群島で湯湾岳、井之川岳に次いで3番目に高い。アマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミなど希少な生物が生息している。天城岳と三方通岳(標高497m)の中腹を走る林道山クビリ線は、徳之島町林道管理条例に基づく通行規制を実施している。林道山クビリ線の自然を楽しみたい方は、奄美群島認定エコツアーガイド(有料)の同行が必要。

## 奄美大島 Amami-Oshima Island

ムシロ瀬

屋久島以南の南西諸島には珍しい花崗岩の巨岩が続く海岸線。歩道が整備されており、岩々の間を歩くことができる。



アマミノクロウサギ  
観察小屋



アマミノクロウサギを夜間撮影しており、その映像を見ることができる。事前予約が必要となるため、天城町役場(0997-85-3111)へお問合せを。

## 徳之島 Tokunoshima Island

井之川岳

標高645m、徳之島の最高峰で、奄美群島では湯湾岳に次いで2番目に高い。国立公園特別保護地区に指定され、アマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミなど希少な生物が生息している。

いのかわだけ  
井之川岳

標高645m、徳之島の最高峰で、奄美群島では湯湾岳に次いで2番目に高い。国立公園特別保護地区に指定され、アマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミなど希少な生物が生息している。



いぬたぶみさき  
犬田布岬

隆起したサンゴ礁が浸食されてきた海食崖が特徴で、その断崖景観は奄美群島唯一のスケールを誇る。



与論島

奄美野生生物保護センター

希少な野生生物に関する調査・研究、保護増殖、普及啓発などを推進するための拠点施設。奄美群島の自然に関するさまざまな展示を行っており、島ごとの特徴や生物について知ることができる。

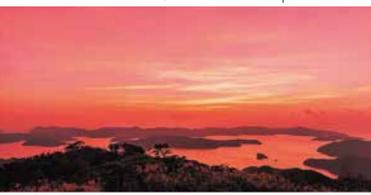


ゆわんだだけ  
湯湾岳

標高694m、奄美群島の最高峰。奄美大島を作った二神が降り立ったと言われる。国立公園特別保護地区に指定され、アマミノクロウサギなど希少な生物が生息している。

ゆいだけ  
油井岳展望台

360°パノラマビューで朝日、夕日も堪能できる見どころ満載の場所。大島海峡と加計呂麻島を一望できる。



Yoron Island  
与論島

鹿児島県の最南端にある隆起サンゴ礁でできた小さな島で、奄美と琉球が混ざった独特の文化を持つ。死ぬまでに行きたい絶景にも紹介された「百合ヶ浜」や透明度の高いヨロンプルーの海は訪れた人を魅了している。



Okinoerabu Island  
沖永良部島

隆起サンゴ礁からなるオカリナ型の島。島の地下には200~300近い鍾乳洞が点在し、ケイビングを目的に全国から観光客が訪れている。また、えらぶゆり(テッポウユリ)やスプレー菊など様々な花が栽培されている。

